

## 第4章 医療の状況

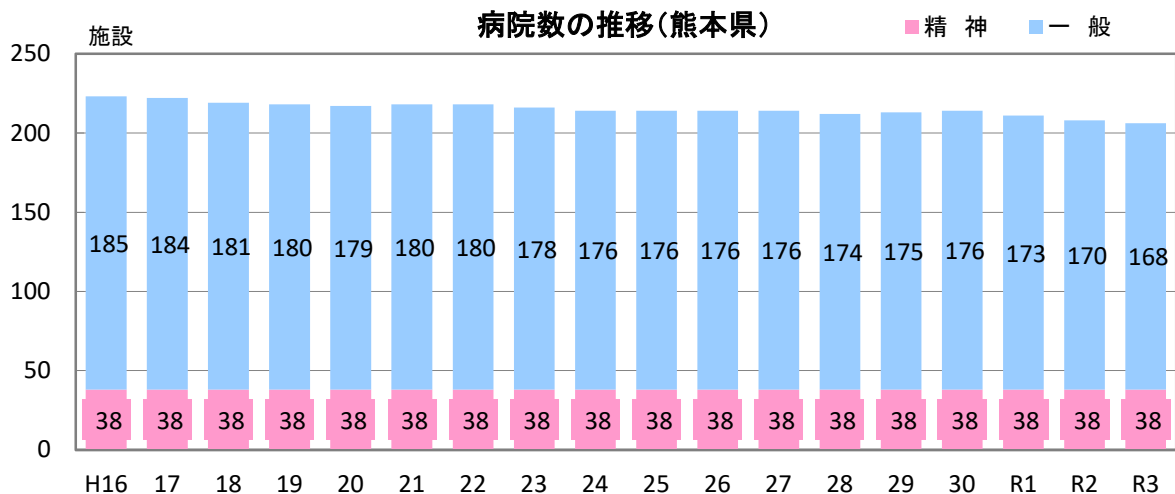
### 1. 医療施設

#### (1) 病院及び歯科診療所の施設数は減少、一般診療所の施設数は増加

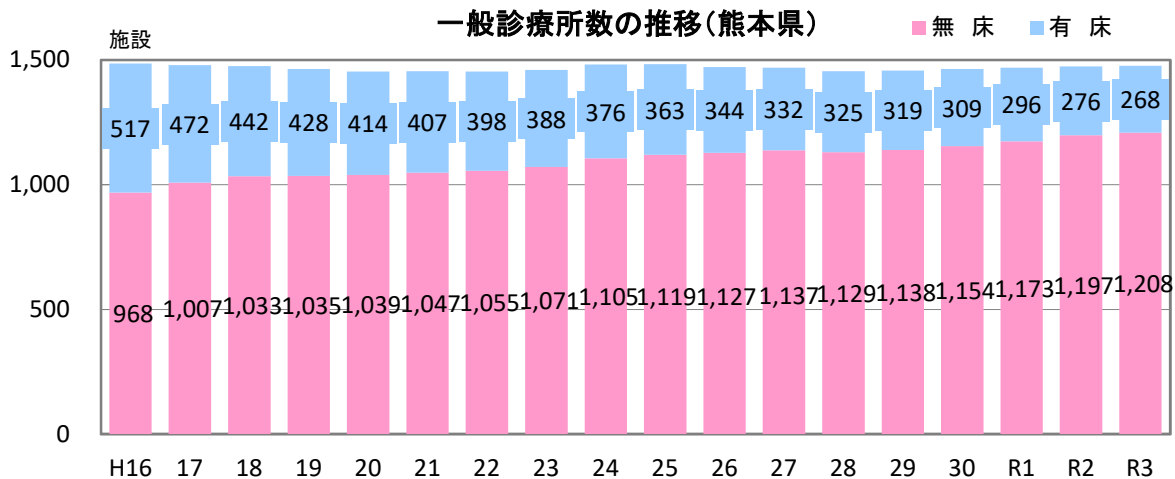
令和3年10月1日現在における熊本県内の医療施設数総数は、2,517施設(ただし、「休止・1年以上休診中」の施設を除く)で前年から2施設減少した。

病院は206施設で、前年から2施設の減少。一般診療所は1,476施設で、前年より3施設増加している。その中で有床診療所(268施設)は年々減少する一方、無床診療所(1,208施設)は増加傾向であり、今回は11施設の増加となった。歯科診療所は835施設で、前年より3施設の減であった。

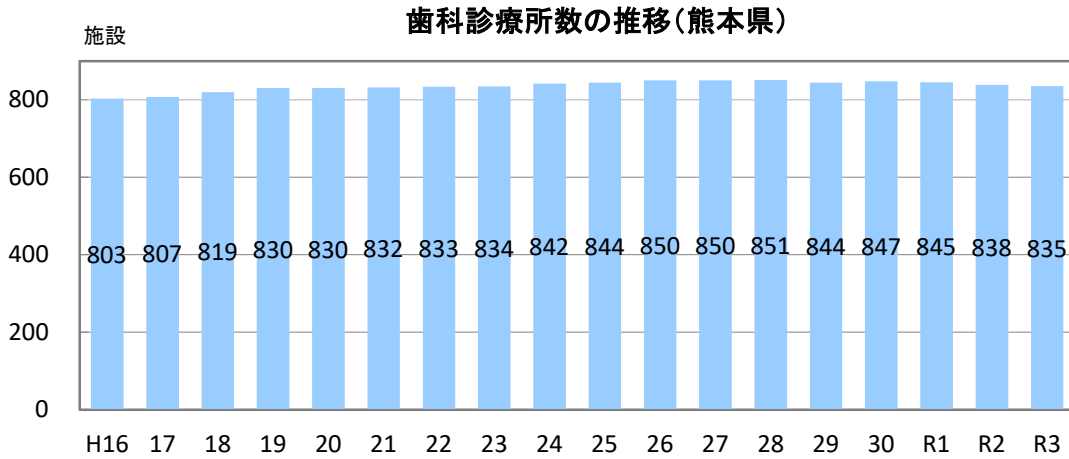
人口10万当たりの病院数と一般診療所数は全国より多いが、歯科診療所数は全国より少ない。開設者別にみた施設数では、病院は「医療法人」が158施設(病院数の76.7%)と最も多く、次いで「公的機関」が22施設(10.7%)である。一般診療所は、「医療法人」が791施設(一般診療所数の53.6%)と最も多く、次いで「個人」が390施設(26.4%)となっている。歯科診療所は、「個人」が583施設(歯科診療所数の69.9%)と最も多く、次いで「医療法人」が247施設(29.6%)となっている。



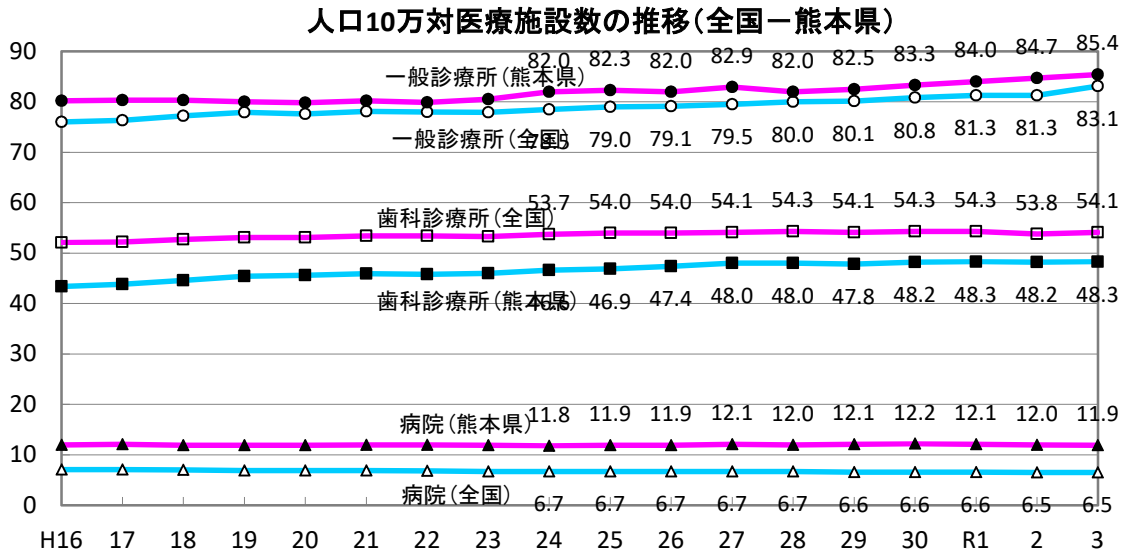
資料) 厚生労働省「医療施設調査」(各年10月1日現在の施設数)



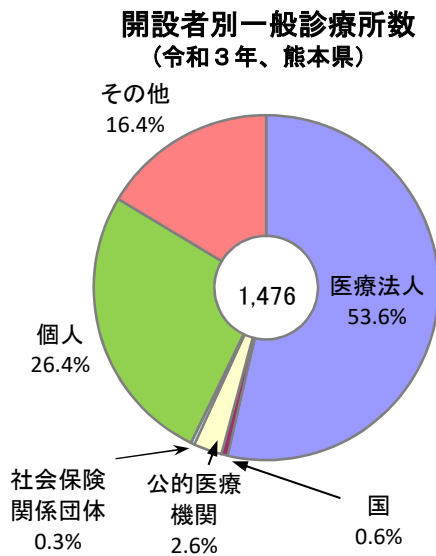
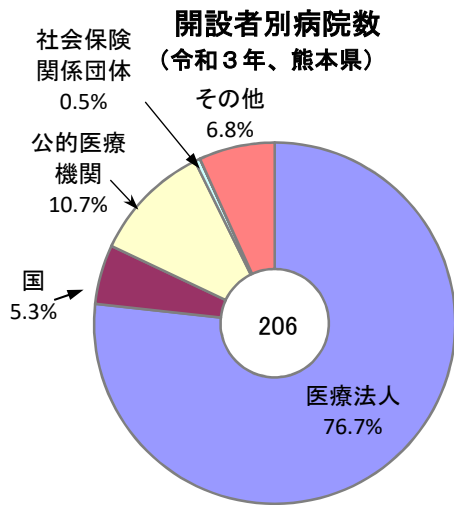
資料) 厚生労働省「医療施設調査」(各年10月1日現在の施設数)



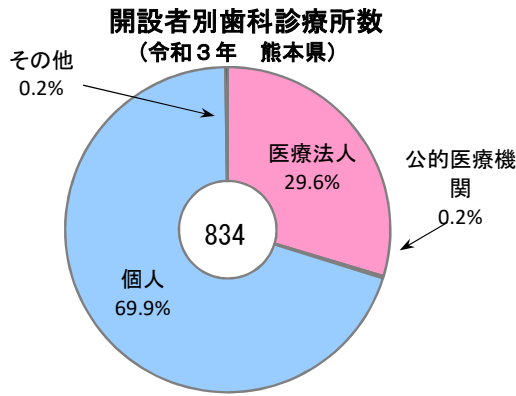
資料) 厚生労働省「医療施設(静態・動態)調査」(各年10月1日現在の施設数)



資料) 厚生労働省「医療施設(静態・動態)調査」(各年10月1日現在の施設数)



資料) 厚生労働省「医療施設(静態・動態)調査」(10月1日現在)

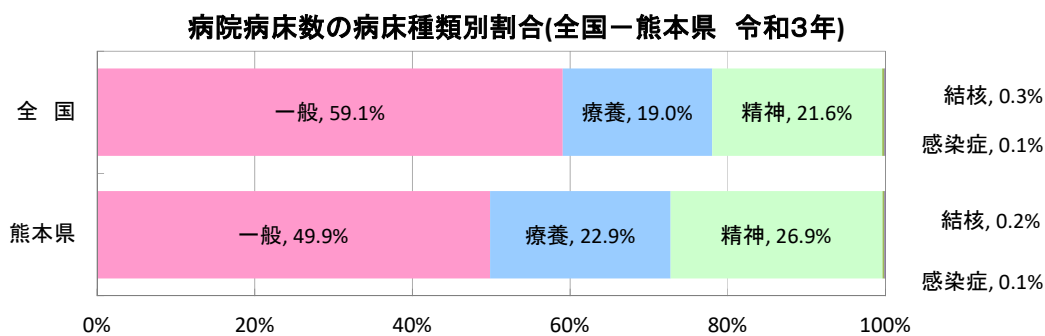
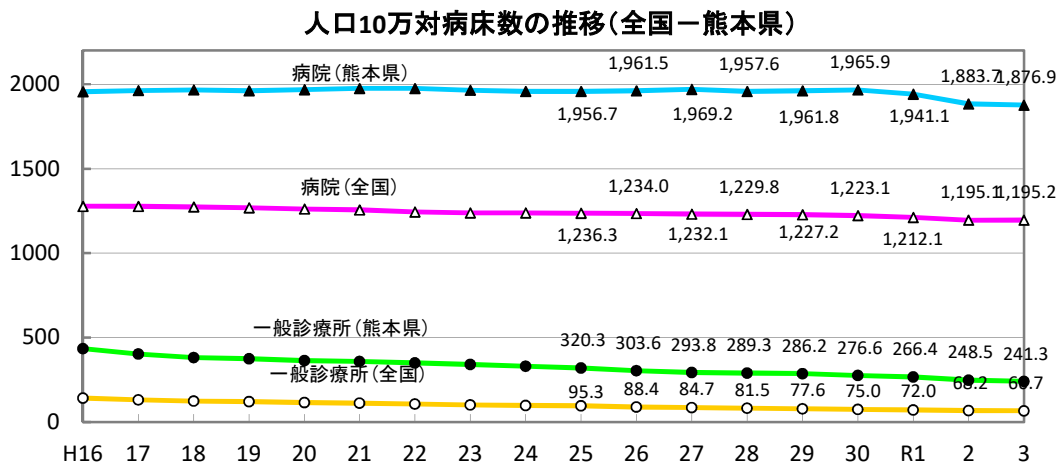


資料) 厚生労働省「医療施設(静態・動態)調査」(10月1日現在)

## (2) 病院及び一般診療所の病床数は、減少

令和3年10月1日現在の人口10万対病床数は、熊本県で病院が<sup>1)</sup>1,876.9床(精神病床 504.5床、感染症病床 2.5床、結核病床 4.3床、療養病床 429.6床、一般病床935.9床)、一般診療所が241.3床、歯科診療所が0床であった。

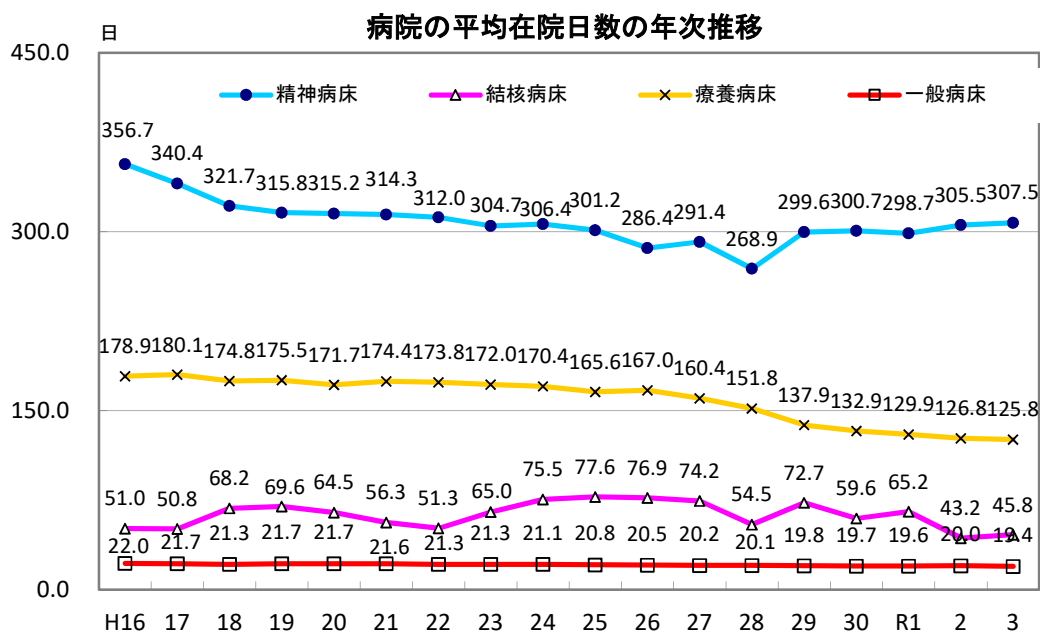
病床数は、病院で前年に比べ6.8床(人口10万対病床数)減少し、一般診療所においては前年より7.2床(人口10万対病床数)減少している。全国の病床数も減少傾向だが本県との差は大きく、依然として全国に比べて病床数は多い。



資料) 厚生労働省「医療施設(静態・動態)調査」(10月1日現在)

### (3) 病院の平均在院日数は、療養・一般病床で減、精神・結核病床で増

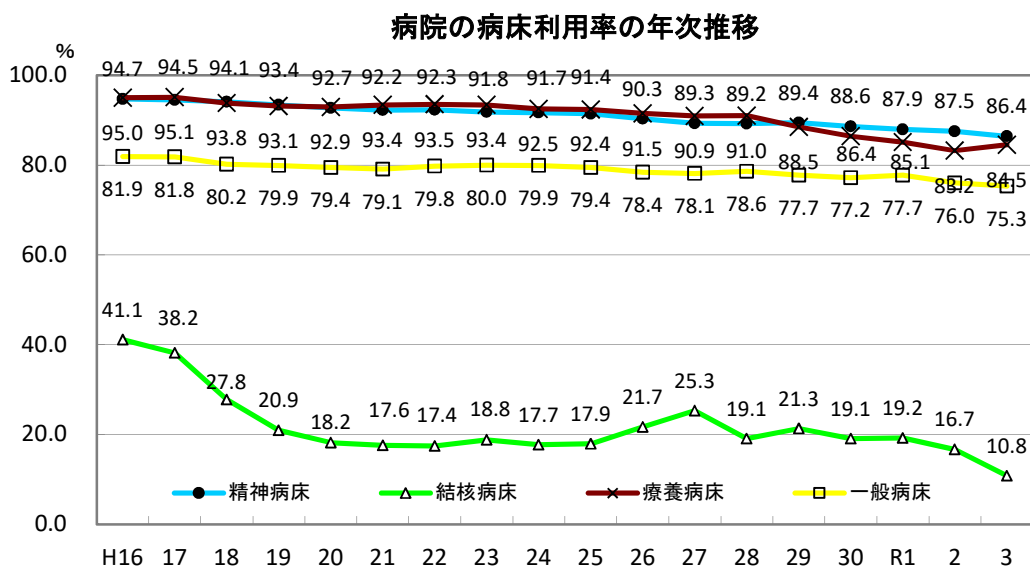
病院の平均在院日数の年次推移をみると、前年と比較して、精神病床で2.0日増加、結核病床で2.6日増加し、療養病床で1.0日減少、一般病床で0.6日減少している。



資料) 厚生労働省「病院報告」

### (4) 各病床の病床利用率は、療養病床以外の病床で減少

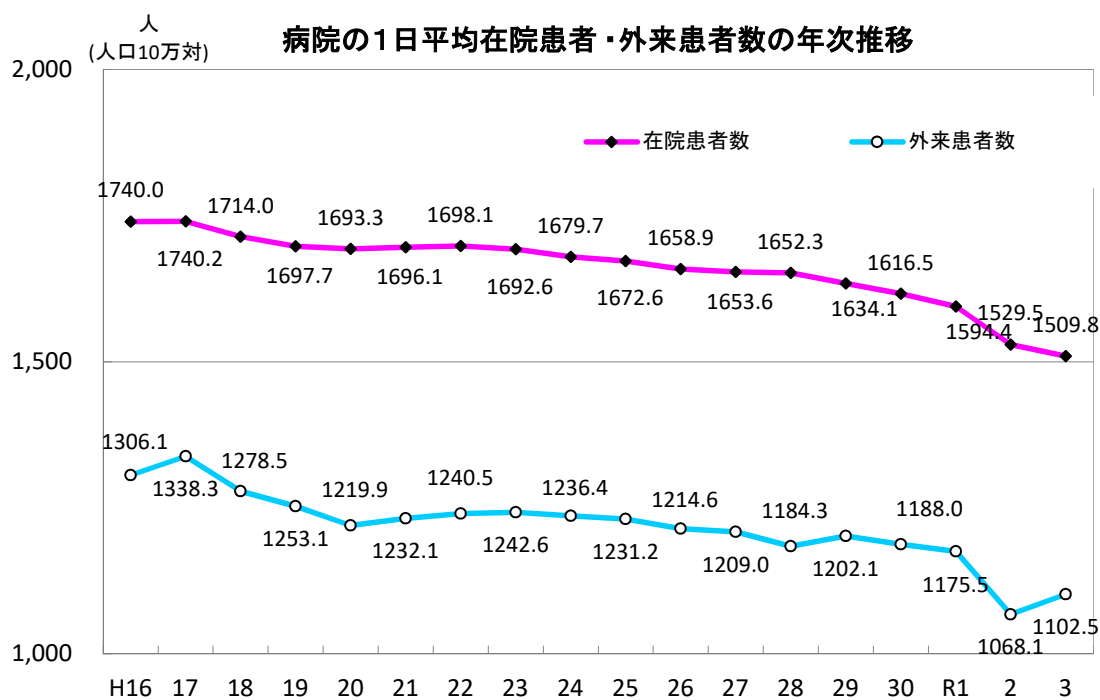
病院の病床利用率をみると、前年と比較して、精神病床で1.1ポイント減少、結核病床で5.9ポイント減少、療養病床で1.3ポイント増加、一般病床で0.7ポイント減少している。



資料) 厚生労働省「病院報告」

### (5) 病院の1日平均在院患者数、外来患者数ともに減少

病院における令和3年の人口10万対1日平均在院患者数は1,509.8人で、前年に比べ19.7人減少し、人口10万対1日平均外来患者数は、1,102.5人で、前年に比べ34.4人増加している。



資料) 厚生労働省「病院報告」